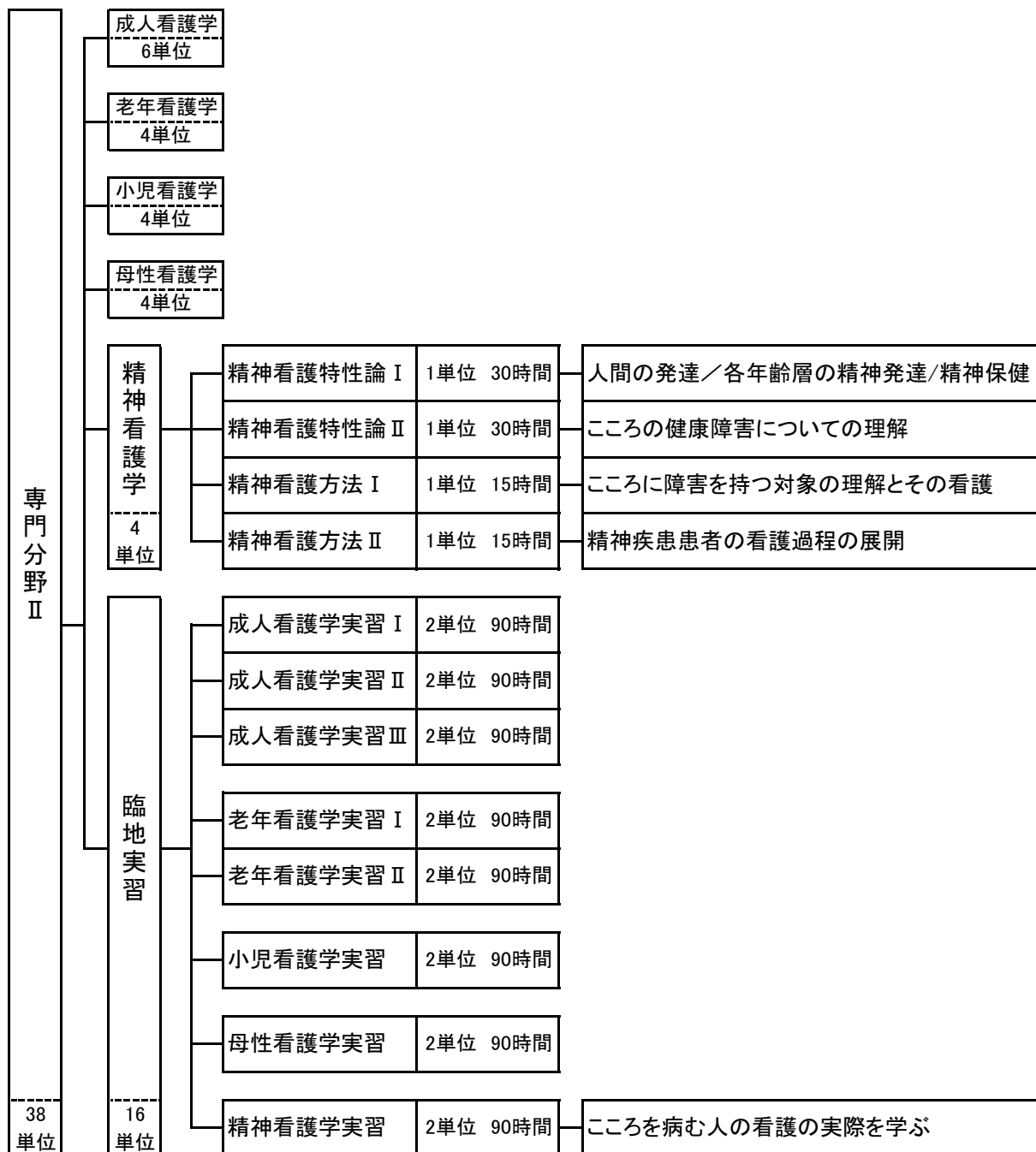


(4) 専門分野Ⅱ

【ねらいと構成】

精神看護学では、ノーマライゼーションに基づき、全てのライフサイクルにおける人々が抱える心身の不調や生活上の問題を把握し、社会に参加しながら自分らしく生活するための支援方法を学ぶ。
また、看護師としての社会的債務を果たすために必要な知識と技術を学ぶ。



科目群: 専門分野Ⅱ

2年度	授業科目	精神看護特性論Ⅰ	担当教員	川崖 真知	単位(時間数)	1(30)
第1学年					担当時間数	30
授業科目に関連した実務経験の内容		臨床心理士経験22年 公認心理師経験1年				
実務経験を活かした実践的な授業内容		臨床心理士・公認心理師としての経験に基づいた講義により、人間の発達や各年齢層の精神発達、精神保健について学ぶ。				
学習目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・発達心理学、人格心理学に関する知識を学び、看護に役立てる。 ・各発達段階の特徴を理解し、患者理解に生かす。 ・発達障害に関する基礎知識を獲得する。 ・DVやchild abuseへの医療従事者としてとるべき対応を学ぶ。 ・ストレス理論とコーピングについて学び、患者理解および自己管理に生かす。 					
回数	月日	学習内容	方法	場所	課題	
1	/	発達心理学概説1	講義	教室		
2	/	発達心理学概説2	講義	教室		
3	/	各発達段階の特徴(胎児期・乳児期)	講義	教室		
4	/	各発達段階の特徴(幼児期)	講義	教室		
5	/	各発達段階の特徴(幼児期後期～児童期)	講義	教室		
6	/	各発達段階の特徴(思春期・青年期)	講義	教室		
7	/	各発達段階の特徴(思春期・青年期のメンタルヘルス)発達障害	講義	教室		
8	/	発達障害	講義	教室		
9	/	各発達段階の特徴(成人期)	講義	教室		
10	/	各発達段階の特徴(成人期後期:老年期)	講義	教室		
11	/	児童虐待への対応	講義	教室		
12	/	ドメスティックバイオレンス(DV)被害への対応	講義	教室		
13	/	ストレスと心身の機能	講義	教室		
14	/	精神分析理論に基づく発達理解 パーソナリティー理論	講義	教室		
15	/	試験、授業のまとめ		教室		
評価方法	筆記試験とレポートで評価する。筆記試験は45分で行う。					
教科書	医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学(1)精神保健看護の基本概念 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学(2)精神保健看護の展開 医学書院 系統看護学講座 別巻 精神保健福祉					
参考書						
履修上の留意点	レポート課題を必要に応じて出す。					

※実務経験は令和2年4月1日現在

科目群: 専門分野 II

3年度	授業科目	精神看護特性論 II	担当 教員	嶋口 和彦	単位(時間数)	1(30)
第2学年					担当時間数	30
授業科目に関連した 実務経験の内容		看護師臨床経験24年				
実務経験を活かした 実践的な授業内容		<ul style="list-style-type: none"> ●精神科病院での実務経験を活かし、患者エピソードや治療・看護の実際と学習内容に関連付けた講義を取り入れている。 ●看護師養成所での教員経験を基に、臨地実習や資格試験のポイントも視野に入れて講義します。 				
学習 目的 ・ 目標		<p>[目的] 心の健康に障がいを抱える人々を援助する上で必要な知識を学習する。</p> <p>[目標] 精神保健福祉の変遷と精神障がい者の現状を捉える。 ケアの原則を踏まえ、精神科看護における特殊性と看護師の役割を知る。 対象の置かれた「生きにくさ」に着目し、それぞれの生活の場に応じた援助のあり方を理解する。</p>				
回数	月日	学習内容	方法	場所	課題	
1	/	精神の健康と精神障がい	講義	教室		
2	/	社会のなかの精神障害	講義	教室		
3	/	精神保健福祉の変遷	講義	教室		
4	/	精神科における法と倫理	講義	教室		
5	/	精神科における治療と看護の役割	講義	教室		
6	/	回復への支援	講義	教室		
7	/	患者-看護師関係	講義	教室		
8	/	施設見学・事前オリエンテーション	講義 GW	教室		
9 ・ 10 ・ 11	/	施設見学	見学	みどりの風 南知多病院	レポート	
12	/	施設見学の振り返り	GW 講義	教室		
13	/	地域生活の支援(1)	講義	教室		
14	/	地域生活の支援(2)	講義	教室		
15	/	試験・まとめ	筆記	教室		
評価方法		施設見学のレポート・発表(20点)と筆記試験(80点)の合計100点満点として評価する。				
教科書		<ul style="list-style-type: none"> ・医学書院 系統看護学講座 専門分野 II 精神看護の基礎 精神看護学[1] ・医学書院 系統看護学講座 専門分野 II 精神看護の展開 精神看護学[2] ・医学書院 統看護学講座 別巻 精神保健福祉 				

参考書	メヂカルフレンド社 看護実践のための根拠がわかる精神看護技術 医学書院 精神看護学ノート 医歯薬出版 精神看護学-学生-患者のストーリーで綴る実習展開
履修上の留意点	施設見学は目的意識を持って参加しましょう。レポート・発表は20点分の評価となります。

※実務経験は令和2年4月1日現在

科目群: 専門分野 II

3年度	授業科目	精神看護方法 I	担当教員	中村 伸一	単位時間数	1(15)
第2学年					担当時間数	15
授業科目に関連した実務経験の内容		看護師臨床経験24年				
実務経験を活かした実践的な授業内容		精神科病院勤務での精神障害のある患者の看護経験に基づいて、疾患の理解と看護援助の具体的な方法を講義に取り入れている。				
学習目的・目標	<p>[目的] 対象の状態や状況に応じた看護援助を学ぶ</p> <p>[目標] 精神障害を持つ対象の疾患・治療の特徴を理解する。 症状や経過に応じた援助方法を理解する。 家族への看護の必要性を理解し、考えることが出来る。</p>					
回数	月日	学習内容	方法	場所	課題	
1		精神疾患の特徴と看護 統合失調症①	講義	教室		
2		精神疾患の特徴と看護 統合失調症②	講義 GW	教室		
3		精神疾患の特徴と看護 気分障害	講義	教室		
4		精神疾患の特徴と看護 神経症性障害、ストレス関連障害	講義 GW	教室		
5		精神疾患の特徴と看護 生理的障害(摂食障害)、パーソナリティ障害	講義	教室		
6		精神疾患の特徴と看護 精神作用物質使用による精神障害、てんかん、神経発達障害	講義	教室		
7		精神疾患の特徴と看護 器質性精神障害	講義	教室		
8		試験	筆記	教室		
評価方法	出席状況、授業態度、筆記試験(100点)					
教科書	系統看護学講座 専門分野 II 精神看護の基礎 精神看護学[1] 医学書院 系統看護学講座 専門分野 II 精神看護の展開 精神看護学[2] 医学書院					
参考書	第4版 精神看護学 II 精神臨床看護学 NOUVELLE HIROKAWA 系統看護学講座 別巻 精神保健福祉 患者理解への看護の視点 日本看護協会出版					
履修上の留意点						

※実務経験は令和2年4月1日現在

科目群: 専門分野Ⅱ

3年度 第2学年	授業 科目	精神看護方法Ⅱ	担当 教員	石川 暁美	単位(時間数)	1(15)
					担当時間数	15+研修1
学習 目的 ・ 目標	<p>[目標] 統合失調症の事例を通し、精神科看護における看護の展開方法を学ぶ</p> <p>[目的] 患者理解のため情報の収集の必要性、その方法を理解する。 集めた情報を整理し対象の全体像を理解していく。 精神看護の実践のため、対象の問題点から看護計画を立案していく。</p>					
回数	月日	学習内容	方法	場所	課題	
1	/	<p>【事例:60歳男性 統合失調症】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事例を通し講義を進めることや課題レポートについて 疾患の理解と問題点を探る視点(症状が日常生活行動に及ぼす影響など)を考える 精神科の視点で情報収集し対象をとらえていく 全体像をイメージし患者の24時間の日常生活をとらえていく 	講義	教室	(精)3-1用紙 3-4用紙	
2	/	・看護過程の展開<3-2>病態アセスメント	講義	教室	3-2用紙	
3	/	・看護過程の展開<3-3>ゴードンアセスメント	講義	教室	3-3用紙	
4	/	〃	講義	教室	3-3用紙	
5	/	〃	講義	教室	3-5用紙	
6	/	・看護過程の展開<3-5>看護上の問題の明確化	講義	教室	3-6用紙	
7	/	・看護上の問題から具体的な計画を立案していく<3-6>	講義	教室		
8	/	・プロセスレコード	講義	教室		
評価方法	看護過程展開の方法は、課題にて提出状況・内容にて評価(100点)とする。毎回授業後にそれまでのすべての課題を提出し、その内容で評価する。					
教科書	<ul style="list-style-type: none"> 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 精神看護学[1] 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の展開 精神看護学[2] 					
参考書	<ul style="list-style-type: none"> 日本看護協会出版 患者理解の看護の視点 講談社 ナースが視る病気 医学書院 系統看護学講座 別巻 精神保健福祉 					
履修上の留意点	評価は課題レポートの合計で行います。6回目まで各10点分。総まとめ授業後、最終提出分は40点分。					

※実務経験は令和2年4月1日現在